

緑区町内自治会だより



発行 緑区町内自治会連絡協議会
代表者 大槻 勝三
発行日 平成31年3月1日

〒266-8733 千葉市緑区おゆみ野 3-15-3
事務局 千葉市緑区役所地域振興課内
TEL043-292-8105

【第9号】

小谷小学校避難所宿泊体験 2018年夏

平成30年8月25日(土)18:30～26日(日)7:45までの日程で、今年で4回目を迎えます「避難所宿泊体験」が千葉市立小谷小学校アリーナ(体育館)とその周辺で開催されました。

総勢72名の方々が参加され、その内24名が実際に宿泊体験をされました。初日の防災訓練では、避難所運営委員会の三谷委員長による「段ボールの間仕切りづくり」、千葉市消防局緑消防署の皆さまによる「心肺蘇生(AED)」訓練、そして小谷防災会の役員の皆さまによる「ロープワーク」の訓練を行いました。防災講演では避難所運営の仕組みやルールについて参加者全員で学びました。



【中庭に設けられたテント村】

また、避難所には太陽光発電・蓄電池システムが導入されており、その操作訓練も合わせて行われました。

“避難所の運営は地域の人々が中心となって運営”

避難所運営委員会が組織されており、町内自治会、自主防災会、学校関係者が中心となり運営しています。

“参加形態は様々です”

避難所のルールを学んで防災訓練を体験して帰宅する人、全てのプログラムには参加しますが宿泊はしない人やテントを準備してテント村に宿泊する人など、参加形態は様々です。

“震度6弱以上の揺れが起こる確率は85%”

防災講演では、今後30年以内に千葉市において、震度6弱以上の揺れが起こる確率は85%というショッキングなお話がありました。また過去に発生しました東日本大震災、平成28年熊本地震、豪雨災害における救助派遣の様子を撮影したスライドをご紹介いただき、災害に対する心構えや避難に必要な準備がとて重要であることを再認識いたしました。
(記事：おゆみ野地区連協 中野 敬一)

《宿泊体験プログラム》

8月25日(土)

- 18:30 避難所開設宣言
- 18:35～ 受付、テント設営
蓄電池システム操作訓練
- 19:15～ 避難所ルールと防災訓練の説明
- 19:30～ 防災訓練
 - ①段ボール間仕切り作り
 - ②ロープワーク
 - ③心肺蘇生(AED)
- 21:00～ 防災講演
- 21:30～ 後片付け
- 21:40～ 消灯準備
- 21:50 消灯宣言&消灯

8月26日(日)

- 6:00～ 起床呼掛け、点呼
- 6:30～ ラジオ体操
- 6:40～ 避難所清掃&後片付け
- 7:10～ 防災倉庫見学
- 7:25～ 食事(アルファ化米試食)
- 7:40～ アンケート回収、参加者解散
- 7:45 避難所閉鎖宣言



【受付をする参加者の皆さん】



【防災講演の様子】

区連協会長挨拶・緑区長挨拶



ご挨拶

千葉市緑区町内自治会連絡協議会
会長 大槻 勝三

町内自治会の皆様には、日頃より緑区町内自治会連協議会運営に対するご理解とご協力をいただき心より深く感謝申し上げます。

緑区連協におきましては、今年度自然災害・気象などをテーマに実施したバス視察研修の実施や各避難所運営委員会が中心となり行った避難所開設訓練など、有事に備えた積極的な取り組みを実践しております。また今年度は、防犯協会・防犯パトロール隊との合同講演会を開催し、千葉南警察署・千葉大学落語研究会・全国読売防犯協会の方々による講話や落語、マジックを通じて防犯について学び、防犯意識の更なる向上を図ることが出来ました。

町内自治会は、社会情勢が変化しても地域コミュニティにとって必要不可欠な存在で有り続けるものです。

今後とも住民が自分たちの力で地域を発展させ、安心・安全なまちづくりのために、皆様一人一人のお力をお貸しください。地域の絆をより一層深めて、行政と共に住みよい・明るい緑区を築きあげて行きましょう。



ご挨拶

緑区長 山崎 信彦

町内自治会の皆様には、日頃より市政並びに区政推進に多大なご理解とご協力を賜っておりますこと、この場をお借りしまして厚くお礼申し上げます。

緑区は、この26年間で人口が約2倍の129,000人と急増し、高齢化率も区全体で約22%、地域によっては70%と急速に進んでおり、地域コミュニティ・地域の絆を深め、維持していくことが最も重要でございます。

こうした中、夏祭りや運動会等の地域行事のほか、助け合いや見守りの活動、自主防災組織や避難所運営委員会による防災対策、防犯パトロールや防犯街灯の防犯対策等、様々な分野におきまして、町内自治会長や役員の皆様方が中心となり、熱心に取り組まれていることに、心から敬意と感謝を申し上げます。

区といたしましても、緑区町内自治会連絡協議会、各町内自治会の皆様と連携を図りながら設立と加入促進、活動の支援に積極的に取り組んで参りますので、今後ともご指導・ご意見を頂き、一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年度区連協年間行事及び予算

平成30年度事業計画

緑区連協の活動目標

安心・安全のまちづくり《防犯・防災・福祉・環境》

年月	内容	備考
30年 4月	監事会 理事会	平成29年度会計監査 予算・決算・総会資料の確認等 要望事項の依頼
5月	通常総会	通常総会関係事項
7月	理事会	要望事項の内容精査 講演会、バス研修会 行き先・テーマ募集
9月	九都県市合同防災訓練 理事会	参加・協力 要望事項の回答 講演会、バス研修会内容精査等
11月	第26回ふるさとまつり	参加・協力
12月	理事会 講演会	バス研修会内容確認等
31年 1月	研修会	バス研修会
3月	理事会 広報紙発行	決算・総会日程等

平成30年度収入支出予算書

【1 収入】 緑区町内自治会連絡協議会 (単位:円)

項目	収入科目	金額	主な内訳
前年度繰越金	繰越金	421,280	
補助金	市補助金	902,000	区連協補助金
負担金	地区連協負担金	149,070	見込み 29,814世帯×5円=149,070円
	バス研修会参加者負担金	132,000	参加者負担金 (3,000円×44名=132,000)
雑収入	雑収入	10	利息(10)
計		1,604,360	

【2 支出】 (単位:円)

項目	支出科目	補助対象経費	補助対象外経費	主な内訳	
交付金		347,608	0		
地区連協交付金	地区連協交付金	345,340	0	14地区(40,930)、23地区(167,190)、24地区(137,220)	
	手数料	2,268	0		
事務費	事務費	70,000	0		
	事務費	消費品費	70,000	0	コピー用紙等
会議費	総会費	132,000	0		
	総会費	消費品費	70,000	0	参加者記念品、表彰者記念品
	総会費	通信運搬費	30,000	0	開催通知、欠席者資料送付代
	総会費	施設・機材等の使用料及び賃借料	7,000	0	緑取コミュニティセンター使用料
役員会議費	役員会議費	25,000	0	お茶代	
	役員会議費	485,404	132,000		
事業費	事業費	180,000	0	切手購入、郵送料	
	事業費	通信運搬費	4,000	0	緑取コミュニティセンター使用料(講演会)
	事業費	施設・機材等の使用料及び賃借料	140,000	0	講演料
	事業費	委託料	160,000	0	バス研修会、広報紙制作
	事業費	手数料	1,404	0	振込手数料(講演料・バス研修会)
	事業費	食糧費	0	132,000	バス研修会参加者昼食代
旅費	旅費	80,000	0		
	旅費	費用弁償	80,000	0	区連協役員交通費
備品購入費	備品購入費	0	0		
	備品購入費	備品購入費	0	0	
予備費	予備費	357,348	0		
計		1,472,360	132,000		
合計		1,604,360			



市・区連協要望事項

町内自治会や地域の問題について、各地区町内自治会連絡協議会から提出された要望は、緑区町内自治会連絡協議会で協議、検討し、「市連協要望」と「緑区連協要望」に分類したのち、千葉市各担当部局に提出しました。

平成30年度の各要望事項に対する担当部局の回答は、「平成31年度緑区町内自治会連絡協議会通常総会」で、各町内自治会長に報告される予定です。

市連協要望…国や県に要望する事項

緑区連協要望…区として特に重要な事項

<平成30年度 市連協要望一覧>

1	第23地区	村田川への転落防止の設置依頼
2	第23地区	イノシシ被害に係る市域を超えた広域的対策の実施

<平成30年度 緑区連協要望一覧>

No.	地区	要望事項
1	第12地区	通学時間帯の一方通行が守られていない
2	第12地区	蒼田駅南口前道路の歩道整備と凸凹解消などについて
3	第14地区	椎名崎町内道路にスクールゾーンの設置を求める要望
4	第14地区	申請書類の電子印化
5	第14地区	椎名公民館の建替え（福祉推進のための拠点整備として）
6	第14地区	敬老会運営助成金に対する要望
7	第14地区	農業関係の補助金について
8	第14地区	町内の狹隘道路拡幅について
9	第23地区	県道土気中野線の歩道整備（土気駅前より土気中学校までの歩道の平坦化）
10	第23地区	県道土気中野線の街灯設置（土気前から土気小学校入口交差点までの間）
11	第23地区	市道大木戸町・土気線と大木戸19号線の交差点に信号機の設置依頼
12	第44地区	大百池公園西側車道の道路拡幅

平成30年度バス研修会

晴天が続いていた1月18日、北風が強い1日でした。バスガイドの素敵な声を聞きながら(株)ウェザーニューズに到着し、4班に分かれて各担当者が付き、説明を受けました。

1人1人が大型テレビで情報を収集しており、各部門の横のモニターには我々でも分かる様に集積した予報が掲示されていました。

(株)ウェザーニューズでは「船員の生命を守り、誰かの役に立つ」との思いで全社員が業務にあたり、世界各地で取引しています。コンビニ担当部門では、その日の売れる品物まで指示しています。尚、テレビ朝日の「グッドモーニング」、「報道ステーション」の気象予報士はウェザーニューズの社員だそうです。



【担当者の説明を熱心に聞く一行】

全世界、否、地球規模の仕事でした。担当者に見送られて昼食会場へ。

午後は、加曽利貝塚を見学しました。強風はおさまらず、見学は外で行われるため、時間を短縮しての見学となりました。ここも4班に。この貝塚がなぜ世界最大級かという、多くの貝塚は海辺にありますが、ここは海から離れております。低い台地には草木が茂り、木の実、弓による獣・鶏の狩猟、そして側には坂月川が流れ、船で上下して魚や貝と山の幸・海の幸を食して豊かな食生活が行われていた様です。故に多くの人々が集まってきてここまでの規模に成ったのであろうと思います。改めて千葉の良さを知りました。

この日の研修は学生時代に戻ったかのような1日でした。

(記事 関本 照男)



【貝層断面から分かる当時の生活の様子】

地域活動紹介 【椎名地区】

「椎名小学校・しいのみ祭」

平成30年11月17日（土）に「しいのみ祭」が椎名小学校で行われました。「しいのみ祭」は、子どもたちが地域の方々から昔の遊びやものづくりを教えていただきながら交流を図る活動です。

今年の活動内容は、低学年がおはじきやこま回しなどの遊びを教わり、中学年がビニールたこや竹とんぼを作って遊びました。また、高学年がお飾り作りと陶芸を行い、全学年併せて計10種の活動がありました。講師としてお越しいただいた地域の方々には総勢20名を超え、校内は子どもたちの賑やかな声で活気にあふれていました。分からないことを自分から積極的に聞きに行く子どもの姿が多く見ることができ、講師の方も一人ひとりに丁寧に答えていました。

竹とんぼ作りでは、頑張って作った自分の竹とんぼをいざ飛ばそうとしても、なかなか上手に飛ばすことが出来ず、講師の方が最後まで子ども達の練習に付き添っていました。また、校庭に出て自分で作ったビニールたこを初めて揚げた時の、子どもたちの「わあ！」という歓声を聞いて、目を細める講師の方の表情がとても印象的でした。

今後も子どもたちにとって素晴らしい体験が行えるように、地域の皆様によるご支援をよろしくお願いします。
(記事 成田 つぐみ)



【3年・ビニールたこ作り】



【4年生の作った絵手紙】



【立派なお飾りが出来上がりました】

地域活動紹介 【土気地区】

「土気地区スポーツ振興会 第49回スポーツレクリエーション祭」

土気地区スポーツ振興会はスポーツ、レクリエーションを通して、会員および町内自治会の親睦と地域のスポーツ振興、発展を目的として活動を行なっています。

平成30年度は歩こう会、グランドゴルフ大会（前期、後期）、球技大会（卓球）、スポーツレクリエーション祭、など、子どもからお年寄りまで老若男女、誰もが気軽に参加できる行事が計画されています。

10月7日（日）には第49回土気地区スポーツレクリエーション祭（スポレク祭）が越智中学校にて開催されました。土気地区のスポレク祭は年々参加する自治会が減少していますが、そんな中でも今年は4自治会（大椎台自治会、越智あさひが丘自治会、越智はなみずき台自治会、サンヴェール千葉町内会）が参加し、地区の中学校の生徒を含めると200名以上の参加者となりました。

競技はサイコロリレー、玉入れ、綱引きなど全12種目が行われ、子どもと大人が一緒になってグランドを駆け回る姿はとても微笑ましく、どの競技も笑顔と歓声の絶えないものとなりました。かく言う私もパン食い競争に参加させて頂き、大声援の中を楽しく走ることができました。やはり、大勢の人たちと一緒に体を動かすのは気持ち良いものですね。

土気地区のスポレク祭は地域交流、健康増進という役割を担いながら、多くの人々に支えられて長年親しまれてきました。今年のスポレク祭も大いに盛り上がりましたが、来年はさらに多くの自治会が参加し、土気地区がより一層発展することを期待しております。
(記事 井桁 幸一)



【総勢80名が参加した綱引き】

編集後記
「普段やっている事しかできない」「普段やっていない事は絶対にできない」と、木村さんは避難所運営訓練の大切さについて、10月28日鎌取コミュニティセンターで講演されました。木村さんは東日本大震災の時、石巻市で防災対策課員として直接避難所運営に携われたその教訓を、56名の参加者に話して下さいました。講演後は、運営委員交流会を行い、ペット訓練や宿泊訓練などについて活発な意見を出し合い、とても充実した避難所運営交流会でした。(広報委員長 小山 義春)



今年度の広報委員

委員長	小山 義春
12地区委員	関本 照男
14地区委員	成田 つぐみ
23地区委員	井桁 幸一
44地区委員	山内 文夫